



左は樹高 20m 幹回 3mの武庫川随一。右側は伐採印を付けられた松、樹高 15m 幹回 2.5m



阪神武庫川駅南側にある楠で樹高 16m 幹回 5m。日の町の楠は幹回 4.7m で僅かに及ばない。



仁川付近のカワラサイコ保護区に砂入りで絶滅と思いきや強かに生き残り保護区を離れ増殖気味であった。



見つけた場所は書かないが、カワラサイコの繁殖地が見つかった。残念ことにミズヒマワリも健在だった。



宝塚新大橋下流に白鳥が羽を休めていた。散歩中の人々が、時々昆陽池から飛来すると教えてくれた。



ムコにゃん広場にタカネルビーが咲いた。砂入りで荒れてはいたが、ドーナツ状の畑で花をつけていた。

18 号台風で大荒れの後片付けも遅々として進まないが、荒れた河原に草が伸びだしちょっと様子が変わってきた。人の手が入らなければ希少種といわれる植物が誰に気兼ねすることなく育ち始めている。自然の強さを思い知らされる光景を目の当たりにした。多種多様な工法の見本市状態で工法を勉強するまたとない機会。